

基地跡地利用計画の基本理念とイメージ

基本理念 1	まちの中心、シンボルになること
<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞のシンボルは何かと言ったときに、やはり残されたここをどのようにするのか、これは100年、200年先のことまで考えた大事な話 ・ここがどう変わっていくかによってその周辺、要するにまちが、どう変化するのか、また、どういふ変化を誘導するか ・朝霞駅南口から川越街道に向かった、この全体のまちの中心になる部分がエアポケットのように空間として残っているので、これがどういふ形で活かされるかによって、この周辺にどういふ影響があるのか ・市民にとってはこの場所が誇りになるような場所、朝霞にはこういう場所があると自慢できるような場所になればと思いますし、また市外の方からしても、憧れの場所になる、そういう魅力をここで発信できれば訪れる人も増えますし、住んでいる人は住み続けたいと思う、そういうシンボルになっていくのかとすごく期待している場所 ・ほかの場所にはない、まさに朝霞にしかない魅力 	

基本理念 2	豊かな地域資源を活かし、かつ、歴史を伝える
<ul style="list-style-type: none"> ・もともと朝霞にいるアーティストのことを前面に出して、例えば、美術館か何かを作った時には、朝霞にいるアーティストが作ったものだとかを展示するなど、何かわくわくする感じがしないと人は寄って来ない。 ・朝霞の特産を一回引っ張り出して、何か当てはまるものを探してみる。 	

基本理念 3	周辺の公共施設との連携及び、公共施設の有効活用に配慮すること
<ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場として公園を捉えている人もいるし、防災の立場で考えている人もいる ・あまり箱ものということではなくて、あの緑を活かしながら市民がさらに憩える場所を作っていけたら。 ・避難所をバリアフリーで作れないか。 ・ここを使うことがほかのものに刺激を与えて、更に活性化していくことも必要 	

※基本理念1～4のイメージに近いものを、第1回検討委員会の意見から抜粋しました。

基本理念 4	16.4ha を中核とする、経済・財政面で実現性の高い計画を目指すこと
--------	-------------------------------------

- 場料が取ればそれをまた還元できる、違う設備もできる。
- 公園の維持管理を将来的に考える上では、ある程度公園の中で一定の営利行為のようなものも考えていく必要がある。
- もちろん緑も必要だし憩いの場も必要ですけど、財政が回っていくというか、少し、よそからお金を持って来てもらうという収益の部分も必要ではないか。
- お金を取れる公園というコンセプトで何かできないのか。
- ある程度、負担がかからないもの。
- 国や県の制度をうまく活用していく。
- たくさんの人に来ていただいて、税金を落としてもらう形でも構わない。あるいは少し有料制にするという話もあり得る。